

2025 年 10 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社トヨコー
代表者名 代表取締役 CEO 豊澤 一晃
(コード：341A、東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 白井 元
(TEL. 0545-53-1045)

国際装備展示会「INDO PACIFIC 2025」における防衛装備庁ブースでの CoolLaser 出展のお知らせ

老朽化した橋梁等のインフラメンテナンス技術を開発する株式会社トヨコー（本社：静岡県富士市、代表：豊澤一晃、以下当社）は、当社が開発した「CoolLaser® G19-6000 シリーズ、以下 CoolLaser」を、豪州・シドニーで 2025 年 11 月 4 日～6 日の期間に開催される「INDO PACIFIC 2025」に出展致します。

■ 出展の狙い

「INDO PACIFIC 2025」は、アジア太平洋地域の商業海事および海軍に関する防衛産業に特化した国際的な展示会であり、今回 CoolLaser を出展する事で、CoolLaser がアジア太平洋地域を始めとした諸外国の防衛装備品のメンテナンスに広く活用される事を企図しております。想定される防衛装備品の対象としては、装甲戦闘車両や艦船、大型通信設備（パラボラアンテナ等の通信用鉄塔）など、陸海空の領域における鋼構造体あげられます。

■ 現状の防衛装備品メンテナンスの課題

特に島しょ部など沿岸地域に配備される装備品は、塩害による鋼構造体への腐食による劣化を防ぐために定期的なメンテナンスが求められ、若手隊員などが時間をかけてサビ取り作業に従事する実情があります。

既存のサビ取り作業は、ハンマー等の手工具やサンダー等の電動工具を中心に行われていますが、これら工具では除せ（錆）度が低く、除去しきれない残留塩分は進行性のサビに繋がり、短期間での再劣化、高頻度のメンテナンスを引き起こしております。

■ CoolLaser が貢献できること

CoolLaser のレーザーヘッドはハンディサイズの 4kg でボタン一つ簡単に操作ができ、照射に伴う反力は無く、メンテナンスにより生じる粉じんも独自開発の集塵機構でボックス内に回収できるため、作業者の身体的疲労の大幅軽減に貢献できます。CoolLaser は最大出力 5.4kW と世界に類を見ず、作業時間の大幅短縮に繋がります。また、高出力で円回転照射されるレーザー光は鋼材表面に生じたサビのみならず、付着した塩分まで蒸発除去させる事が可能となり、腐食因子を残さないためサビの再発を防ぐことができ、メンテナンス頻度の低減にも繋がります。

近年、我が国においても防衛力の強化は国家課題としてその重要性が高まっており、若手隊員には限られた時間を訓練活動や防衛活動などのより有意義な時間に充当頂けると考えております。

■ 今後の見通し

本年、英国・ロンドンで 9 月 9 日～12 日の期間に開催された防衛・安全保障設備に関する欧州における最大規模の展示会である「DSEI UK 2025」でも防衛装備庁ブースに CoolLaser を出展致しました。今後は引き続き防衛省・防衛装備庁とも連携し、我が国防衛装備品メンテナンスへの CoolLaser の活用のみならず、日本発の独自技術を海外同盟国に向けても共に展開を図り、我が国の視点では外貨の獲得や安全保障の強化に貢献して参りたいと考えております。

■ 本件に関するお問合せ先（株式会社トヨコー 広報 IR 担当）

E-Mail: pr@toyokoh.com TEL: 0545-53-1045

以 上